

～ 今月の図書案内 ～

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。
1,2年生のみなさん、春の特別貸出が3/10から始まり、1人10冊借りられます。返却日は4/14です。この機会に、興味を持った本や読みたかった本に手をのばしてみてください。

★図書館からのおすすめ本

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

開館時間 8:35～16:45 (色つきの日は閉館日 予定は変更することもあります)



「君のクイズ」 小川 哲

クイズ大会の決勝で、主人公三島の対戦相手が、問題を読む前に正解を答えてしまう。この不可解な行動の理由とは？ クイズプレイヤーがどのように答えを導くのがわかるとともに、ゼロ文字回答の真実に意表を突かれます。今年の本屋大賞ノミネート作です。



「モノクロの夏に帰る」 額賀 濤

太平洋戦争時に撮られたモノクロ写真をカラー化した写真集が刊行された。保健室登校の中学生、広島出身のテレビマン、東日本大震災を体験した高校生が、現在と対比しながら、遠い昔の戦争を身近に感じていく。戦時下を生きた人々を想うことが、今の時代に必要かもしれません。

「日々臆測」 ヨシタケ シンスケ

ヨシタケシンスケはその日、何を見て、何を思ったのか…可愛いイラストと共に、それらをまとめた記録。「臆測でものを言うな！」大人の世界では、よく言われる言葉だが、世の中は、実は臆測で満たされているのかも…。読むと心癒され、クスッと笑える一冊。



「密やかな結晶」 小川 洋子

その島では、多くのものが少しずつ消滅していった。鳥、バラの花、そして左足までもが。記憶が失われると同時に、人々の心も衰弱していったが、淡々と事実を受け入れていく。小説を書くことを生業とする私も、例外ではなかった。ある日、島から小説が消えるまでは…。



「戦場の秘密図書館」 マイク・トムソン

2012年、シリア内戦下の町ダラヤ。政府軍による完全封鎖、日常的な空爆、食料・物資の絶対的不足…そんな絶望的な状況の中、希望の光が図書館・本だった。戦場となった町の地下に造られた秘密図書館を守りぬいた若者たちを描いた、BBCの記者によるノンフィクション。



「さよならの儀式」 宮部 みゆき

親子の救済、老人の覚醒、30年前の自分との出会い、長年一緒に暮らしてきた仲良しロボットとの別れ、無差別殺傷事件の真相…SFが持つ無限の可能性を引き出し、宮部みゆきの才能と結びつけた少し不思議な8編。宮部ワールド新境地、初のSF作品集。

「化学千夜一夜物語」 太田 博道

化学物質と聞くと「危険なもの」というイメージがあるが、実際は無数の化学物質を利用して生活している。例えば夜空を彩る花火は、金属イオンの炎色反応を活かした職人技。すすとダイヤモンドが同じ元素でできているなど、丁寧な文章でわかりやすく、これまでと違った見方ができると思います。



「野球の経済学」 小林 至

野球にまつわるお金の話を豊富なイラスト付きで解説。社会人野球や独立リーグの選手は稼げる？ 球場スタッフの給料は？ 球場の命名権は年間どのくらいかかる？ などの疑問に全て答えてくれます。スポーツビジネスの入門書として幅広い知識が身につきます。

